

望

三月三十一日

ラ経営の任に當り四月二十八日迄二十五名ヲ使用シ五トテ自轉車ノ
マールヲ製造シ未ルモ財界ノ不況ノ資料昂騰ニ因由シ最近五
文増加地帯依然ク損耗種々経営困難ノ模擧
而シテ注文増加ノ公規知セシ職工賃金低減ハ三トテ最モ慮
トシテ先鞭着ク意味於テ本月三十一日午後二時賃金値上
出

三月三十一日

作成し同日期ニ至リ午後四時迄之ヲ代表社員島田信八ノ
手歎願
之ヲ接受シ各代表社員「目下工場ノ事業不振ニ對シ全
賃金ノ二三割ノ減額ヲ得ルニ對シ他ノ考慮ニ請君期待
ニ請フカ多ク努力スルニ與面目ニ作業ニ從事セシム」ト雖、諒解
本ノクニ職工等之ノ嫌ラス作業ノ中止退場ノ危殆聯合名
額又部事務所ニ集合シ對策ヲ協議スルニ結果翌四日

午後五時男工村谷新ヲ郎外六名女工門脇トノ外一各ノ交渉
委員ニ工場ニ至リ別記要求書ヲ提出シ其回答ヲ迫ルニ全社
側ニ依然經營困難ノ理由ニ之ヲ示シ
於茲職工側ノ最後ノ手段ナル同盟罷業ヲ断行スルヨリ案ナシ
ト衆議一決ニ愈々音ヨリ罷業ヲ決行スルニ至リ

三月三十一日

而シテ現下ノ全工場ノ職工賃金
一請取制 最高一日 七円 最低 一日三四五十ネ
一日給制 最高 二円三十ネ 最低 七十ネ
ニテ職工側ノ意氣能ハ度シ内査綜合スルニ「要求書第一條ヨ
ル賃金値上ノ現在ノ場ノ情勢ニ鑑ミ敢テ不當ノ要求ニリス
問題ノ解決ヲ有利ナシシニハ最高率ヲ以テ要求セサルハカンス且ツ
自ラ解決ヲ早ムモノト予想シ最高三割ノ値上ヲ要求セムカ
ク尚必勝ヲ期スルニ至リ尾崎聯合会ニ應援ヲ求ル模擧ナシ

ク尚必勝ヲ期スルニ至リ尾崎聯合会ニ應援ヲ求ル模擧ナシ